

と き 令和 7 年 10 月 21 日 (火)
ところ 北部公民館 第 1 ・ 第 2 学習室

令和 7 年 調布市公民館運営審議会
第 5 回定例会速記録

開会 午後 2 時 1 分

○稻留委員長 それでは、定刻でございますので、早速、ただいまから令和 7 年調布市公民館運営審議会第 5 回の定例会を開催いたします。

その前に定足数について、御報告いただけますか。

○倉持東部公民館主査 報告いたします。

本日、松浦委員から欠席の連絡をいただいております。松浦委員以外の方からの欠席の連絡はありません。今現在、遠藤委員が到着しておりませんが、欠席などの御連絡はありませんので、間もなく到着するものと思います。現時点において、委員 9 人中 7 人が御出席されておりますので、調布市公民館運営審議会規則第 5 条に規定されている定足数に達しております。

以上です。

○稻留委員長 ありがとうございました。それでは、定足数に達しているということでありますので、引き続き審議会を進めていきたいと思います。

では、傍聴者の方は今回はいらっしゃいますか。

○倉持東部公民館主査 傍聴者は 4 人いらっしゃいます。

○稻留委員長 それでは、入室を御案内ください。

(傍聴者入室)

それでは、傍聴の方々も着席されましたので、次に、資料の御確認を事務局からお願ひできますか。

○倉持東部公民館主査 では、本日資料の確認をさせていただきます。

まず、あらかじめ郵送でお送りしました資料から確認します。令和 7 年調布市公民館運営審議会第 5 回定例会日程です。次に資料 1、使用状況報告（令和 7 年 8 月～9 月分）です。次に資料 2、事業報告（令和 7 年 8 月～9 月分）です。次に資料 3、社会教育委員の会議（令和 7 年度第 3 回定例会）の次第です。ここまでよろしいでしょうか。

○稻留委員長 大丈夫ですか。あと、文化祭の資料は。

○倉持東部公民館主査 続きまして、本日机上に置かせていただきました資料について説明します。まず 1 枚目、調布市北部公民館の館内案内、A4 で両面印刷されているカラーのものが 1 枚です。次に、図書館だより 2025 秋、276 号です。オレンジ色のリーフレットです。続きまして、令和 7 年度調布市公民館運営審議会研修会の資料です。こちらは A4 が 2 枚のもので、左上をホチキスで留めております。よろしいでしょうか。

最後に、本日配付ではないのですが、あらかじめお送りしておりました東部、西部、北部の3館の地域文化祭のプログラムを本日説明の中で触れさせていただきますので、もしお持ちでない方はお申出ください。よろしいでしょうか。

以上です。

○稲留委員長 それでは、議事に入りますけれども、その前に「公民館だより」の記録があるので、遠藤さんがまだお見えになつていないので、今回は遠藤さんの当番なので、また後ほど見えたらお話しします。

それでは、日程に従いまして、初めに(1)の人事異動につきましては、丸山館長からお願ひします。

○丸山東部公民館長 それでは、人事異動について御報告いたします。

教育部長、次長及び公民館に関して職員の異動はございませんでした。

説明は以上となります。

○稲留委員長 ありがとうございました。

では、続きまして、使用状況報告、資料1ですね。これも丸山館長からお願ひします。

○丸山東部公民館長 それでは、令和7年8月、9月分の使用状況について御報告いたします。資料1をお願いいたします。

初めに、8月分です。2ページの下から4行目、公民館ごとの合計欄を御覧ください。東部公民館は183単位、1,318人、西部公民館は123単位、1,445人、北部公民館は179単位、1,353人の使用がありました。3館合計で485単位、4,116人の使用でした。前年の8月と比較いたしますと、22単位、353人の増となっております。

続きまして、9月分の状況です。4ページをお願いいたします。下から4行目、同じく公民館ごとの合計欄を御覧ください。東部公民館は164単位、1,344人、西部公民館は126単位、1,487人、北部公民館は242単位、1,935人の使用がございました。3館合計で532単位、4,768人の使用でした。前年の9月と比較しますと、58単位、947人の増となっております。

前年度と比較した状況につきましては、8月、9月分とも新たに利用を開始した団体が多く利用したことによるものなどです。

説明は以上となります。

○稲留委員長 よろしいですか。皆さん、御質問か何かございましたら。どうぞ。

○下釜委員 素朴な質問です。単位というのはどういうことなのでしょうか。

○丸山東部公民館長 単位と言われているものは、午前中、午後、夜間、その時間枠のものが1つのくくりという形です。各部屋に分かれていますので。

○松田委員 1日3単位。

○丸山東部公民館長 そうです。各部屋につきましては……

○下釜委員 3単位の中のまた部屋ごとに。

○丸山東部公民館長 そうです。

○下釜委員 分かりました。ありがとうございます。

○稻留委員長 ほかに特に……どうぞ。

○清水委員 8月も9月も前年に比べて利用が大変増えて、公民館活動が活発になっていうという認識に立つのですけれども、今、新たな利用団体ということで活動されているというような御説明がありましたのですが、その新たな利用団体の傾向とかというのがあれば、教えてください。

○丸山東部公民館長 東部公民館におきましては、演劇と音楽の2団体が特に活動が多くなったところであります。

○稻留委員長 ほかの館はどうですか。

○福澤西部公民館長 西部公民館については、増の要因としては、体育会系と音楽系の利用が増えたことがあります。また新規の利用ですと、不定期の利用が複数ありましたが、特に傾向等はありません。

以上です。

○小川北部公民館長 北部公民館は前回と同様で、深大寺地域福祉センターと上ノ原ふれあいの家が休館している関係で、新しい団体がかなり多く利用しているというところです。それに伴って有料団体の使用が増加しているところです。

あとは文化祭に向けての準備等に係る使用というのが、やはり増加傾向にあります。1団体当たりの会員数が多い団体の利用が多いというところも増要因の1つになっています。

西部と同じようにやはり音楽系と体操系が増えている傾向にあります。

以上です。

○稻留委員長 よろしいですか。

○清水委員 ありがとうございました。2か月のことなので、音楽というワードがあつたのですが、先ほど資料配付の説明の中で、北部公民館の館内案内を拝見したのですけれ

ども、北部公民館には地下に音楽室のような形で音楽を使う部屋の仕様があるのですが、ほかの館に関しては、音楽に関しては通常のお部屋で活動をされるのか、それともこういった北部のような、こういう仕様になったものがあるのかどうなのかというところをお尋ねしたいと思います。

○丸山東部公民館長 東部公民館においては、専門の音楽室、防音だったりというものはございません。ですので、会議室とかというところで、お使いをいただいているというところあります。

音の関係だったり、そういうところは演劇も使われているのですけれども、そこの部分は、近隣に近いところについては窓を閉めたり、そういう配慮をしていただきながら使用していただいているというところであります。

以上です。

○福澤西部公民館長 西部公民館については、公民館運営審議会を開催している部屋ですが、あちらの学習室ですが、扉が二重になっている等、防音になっております。あちらを利用して音楽演奏、あと太鼓の練習、こういうものもやっており、そちらのほうがメインで使っております。

以上です。

○清水委員 ありがとうございました。東部だけが何となくそういう仕様がないということかと思われますので、ニーズなどもぜひ調査していただきたいと要望させていただきます。ありがとうございます。

○稻留委員長 では、私もその関連で、東部は要するに特別な設備がないということですね。例えば二重ガラスにしてあるとか、防音設備にしていないとか。

○丸山東部公民館長 50年の建物でありますので。

○稻留委員長 それで太鼓だとか何とか、そういういろいろな楽器をやったりして。

○丸山東部公民館長 太鼓のほうは、リクエストは特ないですね。

○稻留委員長 では特に、ちょっと離れてはいるけれども、近くから文句が出るというようなことはなかったのですか。

○丸山東部公民館長 今のところは。

○稻留委員長 分かりました。では、よろしいですか。

(「なし」の声あり)

続きまして、今度は3番目の事業報告、資料2、お願いいいたします。まず、東部の丸山

館長からよろしくお願ひします。

○丸山東部公民館長 今、清水委員が北部公民館の館内案内を御覧なっていただいたところであります、報告の前に各館で特徴的な部屋やしつらえがあります。事業内容にも特徴があることから、今回から会場となる館の施設紹介を、その館の事業報告の前にさせていただきたいと思っています。次回は東部、次々回は西部という形になりますので、御承知おきいただければと思います。

それでは、令和7年8月、9月分の事業報告をいたします。資料2の1ページをお開きください。初めに、東部公民館です。

青少年教育、東部ジュニア教室Ⅲ「思考力を高める！子どもの囲碁教室～初級編」は、全3回で開催しました。こちらは夏休みに集中して囲碁に取り組み、地域で同世代の仲間と学習する楽しさを知ることを目的に開催しました。最終日はハンディキャップをつけて全員でリーグ戦を行いました。優勝者には賞状を授与とともに、参加者には修了証を授与しました。講師は記載のとおりで、登録団体である東部碁友会の方数名にお手伝いいただきました。

参加者からは、「囲碁は初めてでしたが、3日間熱中して取り組んでいました。親自身も初めてで、ルールが難しいと思っていましたが、先生が分かりやすく教えてくださり、親子で学ぶことができました。奥が深そうなので、今後も対局する機会があるといいなと思います」など、満足した感想が多くありました。

東部ジュニア教室Ⅳ、東部公民館50周年記念東部児童館コラボ事業「かんたん・かわいい『ちょこぽん』のキーホルダーブルクリ」は、東部公民館50周年記念キャラクターのちょこぽんをモチーフに、自分だけのちょこぽんキーホルダーを作りました。プラバンというプラスチックの板を使用し、台紙をなぞって好きな色を塗ってトースターで焼くだけの簡単なステップとし、小さいお子様も参加できるよう工夫しました。プラバンはトースターで熱を加えるとぎゅっと縮む特性があり、そのことも楽しみの1つとし、開催しました。

参加者からは、「楽しかったです」「過去のキャラクターでナンバーワンです」「ちょこぽんに夢中です」「手を動かして、記念にキーホルダーとしても利用できるのは、子どももうれしいイベントだと思います」など、お子様はもちろんのこと、保護者も夢中なちょこぽん企画でした。

成人教育、講演会I、東部公民館50周年記念「10代と90代のブックトーク～絵本からその先へ」は、人が本と出会える場所をつくろうという思いから、当時13歳で多摩川河川敷

のケヤキの木の下に、Book Swap Chofu、川の図書館を開館した市立第四中学校出身で、現在19歳の熊谷沙羅氏と、元東部公民館長を務めた94歳の山花郁子氏を講師に迎え、異世代の講演会を開催しました。地域在住であるコーディネーターの星衛氏はチェロ、熊谷沙羅氏はギター、山花郁子氏は歌と朗読で実際にブックトークを披露するなど、登壇者3人の個性が際立つ地域に根差した講演会となりました。担当した専門員からは、様々な人と人とのつながり、お互いがリスペクトする気持ちが蓄積されて実現した企画と聞いています。

参加者からは、「沙羅ちゃんはギターも弾けるんだね。本も面白かった、音楽もきれいで楽しかった」と小学3年生。「3人の合作、すてきでした。先生が若くてびっくりしました。山花先生の歌がお上手で驚きました。お若くて声もよく、話も聞きやすく、すばらしかったです。皆様御自愛なさいまして御活躍ください。沙羅ちゃん、他国でもお元気で御活躍ください。期待しています。星さんのチェロ、もっと聞きたかったです。懐かしい歌が聞けました」と80代、参加者もタイトルと同様に、幅の広い年代層に参加いただきました。

体験教室Ⅲ、東部公民館50周年記念「みんなで描く階段アート～ちょこぽんと仲間たち」は、専用の細長い大きな階段アートシール22枚をつなげて、50周年記念キャラクターちょこぽんを題材にした1つの作品を創作しました。アクリル絵の具で、学校の授業やふだん自宅などではできない体験を目的に実施しました。完成作品は、階段の立ち上がり部分に貼ることで、ちょこぽんが来館者をお出迎えするように見え、加えて地域文化祭の装飾にも彩りを添えています。

参加者からは、「みんなでできな合作をできたから、きれいにできたから、今回も参加させていただいて、ありがとうございました」「今までの1人1枚ずつもそれぞれの世界観があつてよかったですけれども、みんなで1枚の絵を描くのはとても楽しかったです」「出来上がりもよく分かるし、とても充実した時間を過ごせました。ありがとうございました」「記念誌に掲載する参加者全員でジャンプする写真撮影も楽しかったです」などの感想がありました。

高齢者教育、シルバー講座Ⅰ「学んで実践～尿トラブル予防の骨盤底筋トレーニング」は、シニア世代を対象に、尿トラブルがなぜ起るのか、また、どうしたら予防できるのかを講義と実践で学び、よりよい生活を送るための講座を開催しました。このトラブルは男女問わないと、男性にも参加できるよう企画しました。

参加者からは、「実際に触っていただいたて確信が持てました。ありがとうございました」「理学的にも図で丁寧な説明がありがたかったです」「トレーニングも注意点など、非常に分かりやすく、よかったです」「テレビや雑誌だとよく分からず、独りよがりにやっていたので、椅子への座り方や日常の動作もスクワットのような動作ですと効果的など、とてもよいことを教わってよかったです。どうもありがとうございました」など、画面で見るのとは違い、実際に体験できたことがよかったですとの感想が多くありました。

家庭教育、家庭教育講座Ⅰ、東部公民館50周年記念「親子で作る！あんよのお月見アート」は、お子さんの足形で、お月見をするうさちゃんとちょこぽん、保護者の指で落ち葉を表現して、お子さんの成長の今を記録しながら、親子で季節感がある秋アートを作つて思い出にすることを目的に、また、夏の疲れを解きほぐし、免疫力を回復するベビーマッサージも実施しました。

参加者からは、「今しかできない作品、記念が作れた」「スタッフの方が親切にしてくださったので、赤ちゃんがぐずっても安心して参加できました」「自宅でも足形を取る機会がないので、このような講座があり、助かりました。家に飾ろうと思います」など、東部公民館開館50周年という覚えやすい年に今しかできない記念を作つたと、何十年後かに親子で会話する日がきっと来ると思う、すばらしい企画開催となりました。

続いて、2ページをお願いします。展示会、企画展Ⅱ「階段アート作品展～ON THE WALL」は、「みんなで描く階段アート～ちょこぽんと仲間たち」で、完成した作品を東部地域文化祭で来館者を迎える階段へ飾りつける前、早く飾ったところを見たいという参加者の気持ちも尊重し、階段への展示の前に、東部公民館回廊の壁に上下2分割してプレ展示しました。今回は1枚の絵を22枚に分割する前の一体となつたもので、大きな壁画のような感じとなりました。

階段アートは、最長で年度内は飾ることを考えていますが、ぜひ東部地域文化祭の期間に足を運んでいただき、御覧いただければと思います。

地域連携展示Ⅱ、調布四中美術展「膨らめ創造力！漢字をオリジナル絵文字に」は、今年度、市立第四中学校で、調布市防災教育の日に被災者でもある公民館専門員が講演をした際に、校内展示していた美術作品がとてもすばらしく、ぜひ展示したいと思い、地域でお披露目する機会が実現した企画です。字が持つイメージを生徒が感じたままを表現したものですが、全ての作品が理にかなつた、見るものを引きつける力作ぞろいでした。

観覧者からは、「どの作品も楽しく、すばらしくて、このまま本にしてほしいくらいで

した」「一人一人の感性の豊かさと、表現力のすばらしさに感動しました」など、感嘆の感想が多くありました。

諸室開放、会議室開放「どなたでも実習室」は、夏休み期間の8月に会議室を自習室として、昨年度から3日増の13日間開放しました。延べ前々年度10人、前年度37人、今年度62人と飛躍的に増加しました。社会人のワークスペースとしての利用もありました。

続いて、3ページをお願いします。市民文化祭、東部地域文化祭実行委員会役員会、東部地域文化祭実行委員会。以下のとおり、東部地域文化祭第2回実行委員会役員会及び東部地域文化祭実行委員会がそれぞれ開催され、展示、催し物、広報など記載の内容で会議をいたしました。

続いて、4ページをお願いします。連携事業、地域連携事業Ⅲ「みんな集まれ！たたみでのんびり♪赤ちゃんる～む」は、夏休み期間中、赤ちゃんとお母さんの居場所事業として和室を開放する東部児童館との連携事業で、期間は7月23日から8月9日までの14日間です。午前中は東部児童館の子育て専門員が赤ちゃんと一緒に遊び、保護者とは子育てのお悩み相談などを行いました。

今年は東部公民館開館50周年、東部公民館、児童館で夏のコラボ企画を追加し、東部児童館で東京おもちゃ美術館からふだん目にすることができない西洋の知育玩具等に触れる機会を創出しました。広い和室で畳のある部屋で遊ばせたいと周辺地域の子育て世代の利用もあり、徐々に認知度が上がってきている様子も見受けられ、結果、延べ315人、146組の利用がありました。

地域連携事業Ⅳ「お助け！桐朋女子高校生と一緒に宿題しよう」は、1コマ50分、1日2コマで、1コマ4人の少人数枠で開催しました。内容としては、小学生が持参した宿題、課題を小学生が解き、高校生が答えに丸つけをする。次に間違えたところ、分からなかつたところを高校生に教えてもらい、解き直すといった手順で実施しました。

参加小学生からは、「調べ学習を上手にまとめ上げるコツや、調べ方を教えてもらい、分かりやすくまとめられた」、また、「調べ学習が楽しくなったのでよかったです」など、しっかりとした考え方の感想があり、講師陣からは、「とても充実した時間でした。ちょうどよい時間配分で、雑談も交えながら小学生と関わることができたので、とても楽しかったです」「人に教えることは難しいこともありましたが、教えた相手が理解できたときに、自分のことのように喜ぶことができることを学びました。貴重な経験ができるよかったです」「今回のボランティアは本当に勉強になったし、私自身、少しだけ成長できたよ

うな気がします」「本当に今回はとても貴重で有意義な経験ができたと思います。公民館の方々、子どもたち、保護者様、ありがとうございました」など、率直な感想があり、「お互いにとって有意義な時間を過ごすことを感じました」など、地域連携が浸透しつつあると確信しました。

5ページをお願いします。会議、公民館運営審議会委嘱式、公民館運営審議会第4回定例会。公民館運営審議会委嘱式及び公民館運営審議会第4回定例会は、記載のとおりです。

50周年記念誌編集会議、50周年記念誌編集会議は、地域文化祭のちょこポイントラリーでしか手に入らない数量限定のかるたづくりや、紙面の構成など、来年2月の発行に向けて固まりつつあります。

広報、公民館専門教育通信。最後に広報ですが、「東部公民館だより」8月号、9月号を各6,750部発行しました。

東部公民館は以上となります。

○福澤西部公民館長 続きまして、西部公民館です。6ページをお願いいたします。

初めに、青少年教育です。子ども体験教室Ⅱとして、「日本の伝統文化 和菓子づくりとお茶会を体験しよう」を実施しました。和菓子づくりと茶道の体験を通して、子どもたちに日本の伝統文化に触れる機会を提供するとともに、市制施行70周年記念事業として、市内の老舗和菓子店、今木屋店主の小宮崇さんに協力をいただき、市の鳥メジロと市の花サルスベリの練り切りを作り、調布市への愛着心を抱いてもらうことを目的に実施いたしました。

また、茶道体験では、登録団体「蒼天会」の協力の下、お抹茶のいただき方の作法の解説を聞き、お茶会を体験してもらうことができました。

参加者からは、「メジロの形を作るのは難しかったけれども、完成できてうれしかった」「抹茶を初めて飲みました。少し苦かったけれども、おいしかった」「すごく楽しかった。また来年も来たいです」などの感想をいただきました。

次に、子ども体験教室Ⅲとして、「カルトナージュでつくる 自分だけのランプ」を実施しました。フランスの伝統工芸でもあるカルトナージュ作りを通して、作る楽しさ、そして出来上がったランプの美しさを体験してもらうことを目的に実施いたしました。体験を通して、カルトナージュの作成技法を学び、身近な暮らしに取り入れられることを知ってもらうとともに、小学生にも公民館を利用していただくきっかけづくりになることも期待して実施いたしました。

参加者からは、「布を貼っていくのが楽しかった」「講師の妹尾先生の教え方が分かりやすく、楽しく作れました」「またやってみたいです。今度は何が作れるか楽しみです」などの感想をいただきました。

次に、成人教育です。初めに、環境講座として、「わが町調布の土壤を知る 上石原と深大寺を比べてみたら…！」を実施しました。講師は、東京農工大学農学部准教授の田中治夫さんです。市制施行70周年記念事業として、市内の土壤について、その成り立ちや地域差に関わる話から、調布のまちをより深く知り、愛着を持っていただく機会とすることを目的に実施いたしました。また、土の中の微生物の働きについても学ぶことにより、土壤の環境から地球全体の環境についても目を向ける機会とすることも考えて実施しました。

参加者からは、「調布の土壤の成り立ちについて、こんなに詳しく学べたのは初めてでした。様々な角度から土壤について考えることができました」「これまで土について深く考えたことはなかったですが、これからは土を見るたびに観察してしまいそうです。講師のテンポよい話は飽きずに2時間聞くことができました」などの感想をいただきました。

次に、音楽講座として、「音楽のある毎日を『音楽の都・ウィーンの音楽文化の魅力を考える』」を全3回で実施しました。講師は、音楽学者であり、日本大学講師の小澤由佳さんです。クラシック音楽が好きな方にとって、特別なまちとも言えるウィーンに焦点を当て、有名音楽家が集まった理由、音楽の都と言われるゆえんなど、多角的な視点からウィーンの音楽文化を探る内容で実施しました。クラシック音楽初心者にも分かりやすい解説とともに、実際に音楽を鑑賞し、クラシック音楽の理解を深め、味わってもらうことを目的に実施いたしました。

参加者からは、「絵画などの画像、そしてお話しと演奏、とても楽しい講座でした。次回も参加したいです」「小澤先生のお話は、引き込まれるものがあり、元気をいただけます。オーボエの演奏はピアノと合い、とてもすてきでした」「ウィーンの時代のハイドンやシューベルトのお話がとても面白かった。先生のおかげでいろいろな曲に興味を持ち、世界が広がりました」などの感想をいただきました。

次に、成人学級です。まず、「ウエストガーデンきらら」は、花壇のメンテナンスや文化祭への出品内容の話合いなど、この間2回の活動を行いました。

次の「いのちの楽校」は、ジャーナリストの森健さんをお迎えして、現在の生活の中で切っても切り離せないSNSを題材にした公開講座を実施いたしました。この講座は、会員が森さんの話をぜひお聞きしたいという提案からスタートし、会員が自ら交渉し、実現

することとなりました。オンラインでの参加も可能とし、当日は10名が参加されました。

参加者からは、「SNSを使っていない自分でも森先生のお話はよく分かった」「SNSを賢く使用しなければならないとつくづく思った」「SNSなど、現在の情報収集手段に高齢者はついていけない。その中で正しい情報を適切につかんでいかなければならぬと思った」などの感想があつたと報告を受けております。

最後に、「ペンギンテラス」は、親子での料理づくりを行いました。これからも公民館として成人学級の活動を支援してまいります。

7ページお願いします。平和フェスティバルです。講演と音楽のひととき「テレジン収容所を語り継いで35年～野村路子氏が伝える平和への希望」を実施しました。講師は、作家、テレジンを語り継ぐ会代表の野村路子さんです。テレジン収容所の子どもたちが描いた絵画を日本で紹介し、平和を訴える活動をされてきた講師の話から、平和への思いをはせ、平和の大切さを再確認する機会となることを目的に実施しました。さらに、地元第五中学校ボランティアダンス部のダンス及び地元出身ベルリン在住の音楽家による演奏を楽しんでもらう機会ともしました。多くの方に参加していただけるよう、ロビーでの実施といたしました。

参加者からは、「自然体のお話で、平和について問題を提起され、大変意義深いものでした。野村先生のお話を西部公民館からもっと広げていってもらいたいです」「中学生の笑顔がとてもすてきでした。最後のバイオリンなどの演奏もすばらしく、暑さを忘れました」などの感想をいただきました。

次に、市民文化祭です。西部地域文化祭実行委員会の第3回が開催され、部門からの報告と全体協議など、文化祭の運営、配置などについて、検討、確認をいたしました。

次に、団体支援です。サークル体験VIとして、登録団体の「おやじの厨房」が「料理の基礎を学んでステップアップ 暑い夏をのりきる手作り料理『おやじの厨房』体験教室」を2回実施しました。当日の参加者は10名で、各回とも和やかな雰囲気の中での体験ができたこともあり、複数の新規入会があつたと報告があり、サークルの活性化につながりました。

次に、サークル体験VIIとして、登録団体の「ハッピーダンス」が、「社交ダンスを踊つてみませんか『ハッピーダンス』体験教室」を全3回実施しました。参加者は合計11名となりました。社交ダンスの楽しさと会の雰囲気を知つてもらうことを中心に行い、結果として複数の入会者があり、こちらもサークルの活性化につながりました。

次に、会議です。西部公民館利用団体連絡会役員会の第4回が開催され、例年実施しておりますバス研修会についての話し合いを中心に実施されました。

最後に、広報です。「西部公民館だより」を8月号、9月号ともに6,200部、合計1万2,000部発行いたしました。

西部公民館からは以上です。

○小川北部公民館長 続きまして、北部公民館です。まず、本日の開催場所である北部公民館施設の特徴を簡単に御説明させていただき、その後に令和7年8月、9月分の事業報告をさせていただきますので、よろしくお願ひいたします。

それでは、北部公民館施設の特徴を簡単に御説明いたします。先ほど見ていただいたかと思いますが、机上配付させていただきました調布市北部公民館の館内案内を御覧ください。

こちらは、振り仮名等振ってありますが、例年、上ノ原小学校の2年生が授業の一環として、まち探検で来館する際に子どもたちに配付している館内案内になります。まず、調布市は、昭和36年4月に調布市公民館——後の中央公民館になります——を開館し、市民文化の向上を目指す公民館事業を始めるとともに、市の東西南北に1館ずつ設置する公民館4館構想を掲げ、市の北部に位置するこの北部公民館は、その最後の施設として、上ノ原小学校、神代中学校、晃華学園といった学校にほど近いこの場所に、平成元年6月1日に開館しました。隣接する上ノ原公園をはじめ、多くの木々が茂り、四季折々の自然豊かな落ち着いた環境の中にあります。

北部公民館の施設は、コーラスや楽器の練習用にピアノやドラムセット等を備えた防音学習室が地下1階にあること、絵画や陶芸などで使用する美術室があること、それに加え、こちらの案内図には書かれていませんが、屋外には陶芸窯があること、また、炉や水屋を配した茶室があること、正面入り口付近には展示室としても使用できるロビーがあること、2階には談話、学習、読書等で自由に御利用いただける談話コーナーを通年で開放していることなどが特徴となっております。

施設の説明は以上となります。

続きまして、令和7年8月、9月分の事業報告をさせていただきます。8ページをお願いいたします。

初めに、青少年教育です。子ども体験教室Ⅰとして、「『こども夏まつり2025』公民館で『見る・学ぶ・聞く・遊ぶ』を体験しよう！～紙芝居、おりがみ、よみきかせ、ウクレ

レ演奏・大かるた大会～」を実施しました。家族や友達との夏休みの思い出づくりに、また、地域の人や異なる学校、学年の子どもたちとの交流の一助として、若年層の公民館利用の促進も狙いの1つとして実施しました。初めて実施する事業で、参加は申込制とし、事前申込みで定員割れしていたため、当日の申込みも受け付けました。

当日は、令和6年9月に実施した紙芝居講座の講師による紙芝居口演、北部公民館登録団体の「よみきかせサークル」による絵本の読み聞かせ、「紙遊びの会」による折り紙体験を実施し、ウクレレサークルによるウクレレの演奏に合わせて一緒に歌を歌ったりもしました。子どもたちを対象とした事業だったので、各登録団体としても得るものがあったようです。

また、大かるた大会で使用した大かるたは、北部公民館を紹介するA3サイズの手作りかるたです。読み札の文言は、北部公民館登録団体から募集し、その読み札に合わせた絵札は絵画等の北部公民館登録団体に描いてもらいました。最終的には26枚のかるたが出来上がりしました。このほか、昔遊び、お手玉、おはじき、ゴム跳びなどは、公民館の専門員が担当し、会場の装飾も北部公民館登録団体の「紙遊びの会」に協力していただきました。当日は、非常に暑い日でしたが、幼児の参加も多く、子どもたちと保護者の皆さんのが集まり、公民館ならではの手作りのお祭りを室内で楽しみました。

参加した方からは、「この夏、どこのお祭りも人でいっぱいで、暑過ぎて参加する気になれませんでしたが、室内でゆっくり子どもとお祭りを楽しめました。内容も盛りだくさんで、歌も一緒に歌えて親子で大喜びでした。夏のすてきな思い出になりました」などの感想をいただきました。

次に、小学生を対象とした子ども陶芸教室、「粘土で作る自分の好きな動物」です。人気のある講座で、今回も抽選となりました。講師は、北部公民館登録団体「陶芸サークルさくら」会員の崎玉恵美子さんと福地崇子さんです。自分が作りたい動物をスケッチしてきた絵を見ながら、粘土をこねて形を作り、色をつけ、釉薬をかけて、陶芸窯に入れて焼くという陶芸の一連の工程を体験しました。完成後、作品の題名と子どもたちが工夫したことや頑張ったところを書いた作品カードを作り、8月9日から15日まで1階のギャラリーで作品を展示しました。

参加した子どもたちが自分の作品について一人一人説明し、自分以外の作品を見て、お友達の作品のよいところを褒める内容を、ほめほめアンケートと題した小さな紙に書き、後日作品と一緒に、そのお友達が書いたアンケートを本人に渡す事業となっています。

また、昨年度に続き、4年前に陶芸教室に参加した現高校1年生の女子生徒がボランティアスタッフとして関わりました。作業工程やコツなどを理解しているので、今までの学びが生かされ、落ち着いた対応で、低学年の子どものフォローをしっかりとしていました。今後も参加者による学びを還元する良い流れを作りながら事業を継続して実施していきます。

続いて、子ども科学教室Ⅱの「DNAってなんだろう？～DNAを取りだそう、二重らせんストラップをつくろう～」です。こちらの講師は、科学読物研究会運営委員の坂口美佳子さんになります。実験中心の体験を通して学ぶことで、科学に対する関心や知識欲、冒険心などを高め、ほかの学校のお友達や他学年の子どもと交流し、地域とのつながりをつくることを目的とした事業で、まずブロッコリーからDNAを取り出す実験をしました。これはすり潰したブロッコリーの緑の部分、花のつぼみの部分を液体、塩水ですとか洗剤、水などにつけると、液体の真ん中にDNAが集まり、白い塊となって浮き出ているのが確認できるという実験です。

実験後はDNAストラップをビーズとワイヤを使用して作成しました。DNAストラップが完成すると、子どもたちは大喜びしていました。迎えに来た保護者に楽しかったと言って、ストラップを見せている様子も見られました。今後も実験を取り入れたテーマでの子ども向けの事業を継続してまいります。

続いて、成人教育です。成人学級「サステナブルを学ぶ会2025」では、8月に環境映画を鑑賞し、会員同士で感想を語り合い、9月にはごみの廃棄について徳島県上勝町の取組をYou Tubeで視聴し、太陽光パネルの開発については、釧路湿原を例に感想を語り合いました。

次の成人学級「Multicultural Study Group」では、8月に「英語じゃなくていいんです！『やさしい日本語』で伝えよう」と題した出前講座で、災害時に外国籍の方へのやさしい日本語での対応の方法を学び、9月にはJICA海外協力隊として、中南米のベリーズで活動していた前北部公民館専門員の横山さんと、横山さんより先にベリーズで活動していた調布市在住の徳光さんのお2人から活動報告がありました。

続いて、平和事業Ⅰとして、「市民が作った東京大空襲紙芝居+詩の朗読上映会」です。さきの戦争を知る世代である2016年の調布自分史の会という団体が制作した19点の紙芝居になります。これを7月19日から8月6日まで、北の杜ギャラリーにて展示しました。また、北部公民館登録団体の朗読の会による同紙芝居と詩の朗読の発表映像を展示期間中の

土曜日に上映しました。多くの方に平和や戦争について意識してもらい、考えるきっかけとなるよう、夏休みが始まる時期から実施しました。

利用者以外にも、この展示を目的に来館した方もおり、「この展示で戦争のことに触れて、子どもが何か感じてくれればと思い、家族で来館した。朗読も子どもと一緒に聞けてよかったです」などという声がありました。

次に、平和事業Ⅱとして、講演会「日本の安全保障の現在地と平和への道」プラス東京大空襲紙芝居と詩の朗読上映会です。講演会の前に、次世代へ継承していく働きとして、平和事業Ⅰで報告しました市民が作った東京大空襲紙芝居と詩の朗読の発表映像をこの事業でも上映しました。講演会では、戦後80年に当たり、戦後から現在までの日本の安全保障政策の歴史と現状を学びました。日本が80年間戦争しなかった事実と、どのようにすれば平和を維持し、戦争を回避できるのかを、今後の平和的国際関係を構築するための外交政策の一例として、東南アジア諸国連合の取組から、その展望について考えました。

参加者からは、「話が分かりやすかった。戦争は起こさない努力をするしかなく、戦争を起こして庶民の利益になることはない」「外交、対話の積み重ねは大切だと思った」など様々な感想をいただきました。

続いて、9ページをお願いいたします。展示会です。第4回の公民館運営審議会定例会で御報告しました「親子でガラス工芸体験～おうちの小物入れかプレート作り～」で製作した38点の作品を8月3日から10日までの7日間展示しました。

また、8月9日から15日までの6日間は、先ほど報告しました青少年教育の子ども陶芸教室「粘土で作る自分の好きな動物」の受講者による作品を展示しました。

9月3日から16日までの12日間は、「木彫りサークル　うもれ木会作品展」として、26点を展示しました。

次の市民文化祭では、第4回役員会を実施し、追加イベントや追加展示の報告、各担当からの進捗状況、オープニングや開会についての話し合いを行いました。

続いて、連携事業です。地域連携事業IV及びVは、北の杜地域交流会議第2回、第3回目です。8月及び9月に開催し、北部地域文化祭の中で開催する「北の杜わくわくまつりこどもおとなもあそびにきてね」についての内容確認や進捗状況、当日のスケジュールの確認を行いました。

続いて、会議です。9月13日に北部公民館利用団体連絡会役員会の第4回を開催しました。2回目となります公民館敷地内除草作業の準備の確認や、北部地域文化祭交流会につ

いての話し合いを行いました。

最後に、広報です。「北の杜通信」8月号と9月号を各5,600部発行しました。

北部公民館からの事業報告の説明は以上となります。

○稻留委員長 お疲れさまでした。各館から今の御説明を聞いたのですけれども、お話を聞いていて、これは私の個人的な意見ですが、まず説明資料を作るのにスタッフの方とかを含めて大分時間をかけているのではないかという気が1つしました。それと前回のようにいろいろな議事が立て込んでいるときには、今のペースでいくと相当時間も取るので、少し抑揚をつけたり、特色といいますか、そういったものを皆さんで御相談なすって、もうちょっと簡素化されてもいいのではないかという気もしましたが、いかがなものでしょうか。どう思いますか。

○大槻副委員長 そのような形で言えば、審議会自体、迅速に進めるということ、これはあくまでちゃんとした、伝えるということは絶対に外さないという意味で、そこまで管理できれば、そのような今委員長が言った意見もありかなと私は思います。

○稻留委員長 皆さん、いかがなものですかね。特になければ……どうぞ。

○清水委員 今、全ての事業を御説明いただいている状態ですね。今日に関しては、8月と9月に公民館で実施されたものを、北部、東部、西部と全て御説明いただいている形だと思うのですけれども、これは紙媒体でも頂いているということで、委員長のおっしゃるとおり、特徴的なものに関して説明をいただくあるとか、新規のものに関して御説明をいただくとかというような簡素化は、資料がありますので、可能ではないかなとは思いました。

○稻留委員長 今の清水委員の御意見は、資料は大体このままでもいいから、説明の仕方をもうちょっと工夫したらという感じでしょうか。

○清水委員 強めではないですけれども、そういうやり方もあるのかなという感想はあります。

○川上委員 最後のほうの広報を発行しましたとか、あと会議がありましたとか、そういったことはもう少し短くてもいいかもしませんね。それと参加者の感想もすごく丁寧に言ってくださっているのですが、参加者の感想も特徴的なものをお聞かせいただければと思いました。あと内容についても、いいですか。その件については、ほかの方もあれば。

○稻留委員長 川上委員、どうぞ。

○川上委員 改めて8月、9月は本当に暑かったので、この暑さの中でこれだけの事業

をまずやられたことが私は本当に御苦労さまでしたという気持ちです。そして、その中で、これだけの方たちが集まってくれたということは、これだけの猛暑で本当に必要な時だけ出かけてくださいみたいな暑さでしたから、その中で来てもらえる事業をやっていたということは、もう一回確認してお礼を言いたいと思いました。

あと、私が印象に残ったのは、青少年教育とかで既存の団体が公民館の主催の事業と一緒にやる、それから地域の人が参加して一緒にやる、そういうものが幾つかあって、青少年に限りませんが、東部で言えば山花さんが出られたブックトークのところで、沙羅さん、有名ですよね。彼女を連れてきてというか、来てもらってやったというのはすごく大きな地域とのつながりの1つの話題性のあるものだったのではないかと思います。

あと、西部でも和菓子のお店と、それから登録団体が一緒にやるとか、あと北部でいうと、ちょっとこれは印象的だった、かるたをみんなで募集して作って、それを団体が絵を描いたりした。そういう子どもたちや登録団体が一緒になって公民館の事業をつくるということがすごく価値があるなど。若い世代が本当にこれから公民館に来てほしいと思っている、その工夫というか努力、ちょっとでも関わってもらう。桐朋の子どもたちもそうですがれども、そういう努力を1つはすごく感じました。

あと、成人学級の中で、本当に自分たちが学びたいテーマ、SNSのことがありまして、私もあれは参加したのですけれども、本当に面白くて、単にSNSが危ないとか安全とかではなくて、前の選挙でSNSがどれだけ力を発揮したか、その流れとかを説明してくれて、とても面白かったです。

そういうテーマ、あと北部ではベリーズの人に来てもらって、海外支援の話を聞くとか、そういう本当に聞きたい話を成人学級の人たちが自分たちでテーマを持ってくるというところは本当に成人学級らしい活動で、いいな、私たちも聞いたかったなと思います。

あと平和をテーマにすることも公民館にとってはとても大事なので、そこも一生懸命考えてやってくださっていることが分かったので、報告は長かったですけれども、でも本当に内容も分かりましたし、よくやってくださっているなという印象を私は持りました。

長さから言えば、感想のところとか、会議のこととか、もうちょっと縮められるところはあってもいいかなということは思いましたけれども、本当にありがとうございました。

○稻留委員長 皆さん、いかがですか。どうぞ。

○八田副委員長 説明の内容は、もしかすると過去からの議事録を残すということも必要だったのかなとも思いますが、ポイントを絞っておけば、私も短くてもいいのだろうと

思います。

ですから、1つの施設、1つの館がおおむね10分ぐらいで簡潔にまとめて、3館でおおむね30分の報告など、時期にもよるかもしれませんので、多少延びたり短くなったりということもあるかもしれません、資料も頂いていますし、先ほどありましたとおりなので、ポイントを御説明いただければいいのではではないかと思います。それが1点です。

先ほど北部公民館の館内案内があって、よくよく考えると、先ほど稻留委員長からもありましたとおり、資料をまとめのも非常に大変な作業だとは思います。ちょっと1つだけ提案なのですけれども、事業を打っている中で、どこの会場でそれがなされているのかというのをもしよろしければ、区分がありますよね。「事業名（回数他）」となっているので、この最下欄のところに、例えば会議室だとか和室だとか調理室だとかというのを入れておくと前段の利用状況の御説明もあるので、どこがどのように活用されているのだというのがひもづけされるのではないかと思います。次回以降、御検討いただければありがたいという点が1点、提案です。

東部さんの中で少し確認なのですが、会議室を御利用されて、開放されていますよね。子どもたち、もしくは会社員の方が自由に使っていいですよという、夏場の展開があります。

あと4ページのほうにも、お子さんたちとの連携ということで、東部児童館との連携の内容があって、大変すばらしい内容だと思います。だんだん利用が増えているということもあるので、これは50周年の流れの中でという御説明もありましたが、ぜひ51周年以降も毎年やっていくといいなと思います。これは稼働率の関係もあったりすると思いますので、ぜひとも開かれた公民館ということで、御展開されるといいなと思います。よろしくお願ひします。その辺どうですか。

○丸山東部公民館長 この点については、今年度は50周年と冠をつけていろいろな展開をしています。これについては昨年度も実施しておりますし、認知度も徐々に上がってきていたところではありますので、継続してやっていければと思います。

特にこの時期、夏休みの期間でないと、なかなか組めないという内容でもありますし、加えて、畳でというものにつきましては、皆様、自宅の中で畳の部屋があれだけ大きなところはないので、毎年楽しみにしているという声も多くいただいているところでありますので、ぜひ継続していきたいと考えています。

以上です。

○八田副委員長 資料1で御報告いただいた稼働率としても、和室だとかはかなり低かったりするので、ぜひこういう事業で展開されるといいなと思いますし、今後利用システムを入れるという形も想定されているようですから、稼働率がだんだん高まる可能性もあるので、ぜひ誰でも利用できる施設なのだよということを、若年層も含めてアプローチいただくといいなと思いますので、よろしくお願ひします。

自分のほうは以上です。

○稻留委員長 松田さんとか下釜委員は何かござりますか。

○下釜委員 私はまだ2度目ですので、全体状況を知るには、今の説明で、ああ、そういうことをやっているのかということはよく分かりました。ただ、総花的な説明ですので、中身がどういう中身なのだろうということは、ちょっと分かりにくいくらいなと感じながらずっと追っていました。どうしていけばいいのかということは、これから考えます。

○稻留委員長 松田委員はいかがですか。

○松田委員 私もまだ2回目で、この委員としてどのように対処するといいますか、まだつかめていないので、細かく説明していただいているが、それがどの程度、実際に利用率に満足いくだけの利用がされているのか、そうでないのか、その辺がまだつかめませんので、もう少しそれを分かりやすく説明していただけるとありがたいと思います。

○川上委員 もし御予定が合えば、少し関心のあるものに顔を出していただけるといいですね。

○松田委員 いや、実際に私は利用しています。

○稻留委員長 では、大体皆さんの発言も出たようなので……

○大槻副委員長 すみません、これは質問というか、東部、西部、北部、全部一緒です。私の意見です。今、全部御説明いただいた中で、やはりちょっとさっきとダブるのですけれども、青少年教育の事業は、東部、西部、北部とも8月で夏休みにちょうど当たるというのもあるかもしれないのですが、全部事業内容でいえば、小学生を対象に考えてこれを言っているのですが、小学生が公民館への興味、楽しみ、それから価値観を伝える要は窓口になれたのではないかなというような、これは私の意見です。

○稻留委員長 では、私も1つ。青少年も確かに大切なだけれども、大分前にちょっと議論になったことがあるのです。最近、長寿化ということで、長生きの方が増えているけれども、心身ともに健全で長生きならいいのですが、私の友人でも母親が101歳で、自分が行っても分かるか分からないか、そのようなことを言う長寿もあるわけですよ。

孤独というのは一番いけないらしいので、定年退職をして何もしていないという状況、女性などですと当然いろいろ家事の話があるけれども、男性はどうもそういうことにならないとあまりあんばいがよくないのではないかと思うので、そういう人を何とか公民館に来させて、交流させて孤独にならないようなことも頭の片隅には入れておいてほしいというのをよろしくお願ひしたいと思います。どうぞ。

○清水委員 今委員長がおっしゃった高齢者世代にどうやって参加していただくかということだと思うのですけれども、1つには通常に活動されている団体の体験事業というのが、先ほども御説明の中に料理教室でしたか、体験をされたらそこからメンバーになっていただくというような体験事業の回数を増やしていただくですか、北部公民館でやられたこども夏まつり、これは子ども対象ですが、実は紙芝居、読み聞かせ、ウクレレの方、折り紙の方、の中にも高齢の方はいらっしゃると思うのです。これは十分多世代で交流できるような場になっている。かつ猛暑の中、室内で楽しめるということで、公民館にお越しいただくまでにはちょっと暑い思いをされるかもしれないですけれども、こういった場所で、御高齢の方も楽しんでいただけるような取組というのを、北部のこども夏まつりはぜひ来年も継続していただいて、お子様だけではなく御高齢の方にも届くような御案内をしていただければ、また御自宅から外出するチャンスになると思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

○稻留委員長 公民館活動とはちょっと関係ないのですけれども、今の話は11月8日に、たづくりの1階でちょっと正式な名前は忘れましたけれども、サークルデビュー何とかという、20団体か30団体ぐらい集まるのですか、それが1つのブースを作って、踊りとか何かですと、実際舞台で演舞もやって人を集めているのはやっていますので、皆様も見て帰ってもらったらありがたいと思っています。

それでは、この話もそろそろ締めたいと思いますけれども……

○丸山東部公民館長 では最後に。今いろいろな委員の方から御意見いただいたところではあるのですが、私たちの考え方をお示しをさせていただければと思うのですけれども、よろしいでしょうか。

○稻留委員長 どうぞ。

○丸山東部公民館長 各館における事業報告については、全事業等に関して目的、実施内容などはもとより、参加者のアンケートまで、その事業がどのような背景で実施に至り、開催日当日の参加者の雰囲気までもが伝わっていたと考えています。

一方で、全事業等を一律に説明することで、本来、多く時間を割き、特筆すべき事業を報告したいとも考えておりましたけれども、一定の時間の中では難しく、各委員にはどの事業が特別なのか不明瞭になりやすいとも感じていました。

今後は、まずは各館における新たな事業や反響が大きかった事業、特筆すべき事業などを説明することを前提にして報告書を作成していければと思います。加えて、例えばこの後に報告しますけれども、社会教育委員の会議の説明なども含め、次回から全体的に要点を踏まえた内容とすることを前提にしていきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

○稻留委員長 よろしくお願ひします。よろしいですね。

(「異議なし」の声あり)

それでは、この利用報告関係は終わりにしまして、次は教育委員会の会議の御報告というか説明ですね。これは丸山館長からよろしくお願ひします。

○福澤西部公民館長 地域文化祭……

○稻留委員長 失礼しました。では、地域文化祭の案件について、御説明をよろしくお願ひします。

○丸山東部公民館長 それでは、地域文化祭の開催について御案内いたします。

東部、西部、北部それぞれの地域で開催する地域文化祭は、市民文化祭と連携して実施しています。初めに、3公民館共通の内容について報告いたします。

開催期間ですが、10月25日土曜日から11月2日日曜までの期間のうち10月27日月曜日の休館日を除く8日間となります。

続きまして、各公民館地域文化祭の内容に移らせていただきます。

最初に、東部公民館です。東部地域文化祭のプログラム、こちらのほうを御覧いただければと思います。

東部公民館は、今年開館50周年を迎え、節目の年を表現したテーマ「地域と共に50年明日へ繋ごう文化と絆」となりました。プログラムの表紙は50周年記念キャラクターちよこぽんとともに、過去のプログラムの表紙をちりばめ、経過した年月を感じていただくとともに、上部に50周年記念ロゴ、市制施行70周年ロゴを掲載しました。

プログラムは地域連携、学校連携・協力、東部公民館と同じ年を迎えた保育園、児童館とのコラボ企画など50周年企画で満載ですので、詳細は後にゆっくり御覧いただきたいと思います。

1ページをお願いします。イベントカレンダーは、開催期間中のスケジュールを明記し

ています。

その下は、開館50周年に関連した特別企画がほとんどです。最下部、左下のちょこポイントラリーは、7ページで説明いたします。

2ページをお願いいたします。実行委員会の企画イベントです。最初に、オープニングイベントですが、初の試みですけれども、講習に参加したキッズと桐朋女子によるダンスの披露を皮切り地域連携、学校連携・協力のオンパレードで、地域に根差した東部公民館を強烈に演出した演目となります。

そして、最終日のグランドフィナーレでは、参加者全員みんなで歌いましょうで合唱し、その後に、今年限定で大抽選会を実施します。

右最下部のすまいるパンとコラボしたちょこぽんパンは数量限定です。ぜひこの機会をお見逃しなく。

3ページをお願いします。体験イベントです。定番のお抹茶席や生け花体験教室など、館で活動する団体による楽しいイベントが盛りだくさんです。さらに近隣の図書館若葉分館と連携して、おはなし会を実施するとともに、今年はちょこぽんとじろのコラボでクイズを解いてシールをプレゼントします。

4ページをお願いします。複合館である東部公民館・保育園・児童館のコラボ企画「わくわく！ミニサークル」を市内在住のサークルスパフォーマー、サブリミットがわくわくさせます。ちょこぽん関連イベントもめじろ押しです。

5、6ページをお願いします。今回の文化祭に参加しているサークルの紹介になります。これを見て、1人でも多くの方がサークルに興味を持って参加していただければと思います。

6ページの右下では、東部公民館で活動するサークルが読み札を担当して、かるた本体、ケースも手作りで、みんなのカルタを作りました。これは7ページで紹介します。

裏表紙で、7ページをお願いします。1ページ及び先ほどの説明となります。最下段、ちょこポイントラリーを実施します。ポイントを集めて、クリアファイル、缶バッヂ、みんなのカルタを数量限定でプレゼントします。

開館50周年で特別な文化祭、ぜひ足をお運びいただき、その目に焼きつけていただければと思います。

東部地域文化祭の説明は以上となります。

○稻留委員長 どうぞ。

○福澤西部公民館長 続きまして、西部地域文化祭について御案内させていただきます。

5月の第1回実行委員会以降、役員会、全体会、そして各部門に分かれて、それぞれの立場でいろいろな意見、協議を重ね、一つ一つ準備を進めてまいりました。

今年の西部地域文化祭は、昨年に引き続き、持続可能な文化祭とすることを基本的な考えに据え、以前から取り組んでおります実行委員会の開催数の縮減をしつつ、部門別会議の活性化を進め、各サークルの負担軽減を図りながら進めてまいりました。

それでは、リーフレット、表紙をお願いいたします。今年度の文化祭のテーマとしては、昨年に引き続き、「世代をつなぐ文化と仲間」とし、表紙の絵は絵画サークル「絵ンジエルの会」の協力をいただき、会員の方の作品を提供していただきました。

会場は、2階の西部公民館はもちろんのこと、1階の西部児童館の遊戯室なども使わせていただき、展示やサークル体験、くつろぎコンサートなど、活動の成果の発表の場とともに、地域の団体にも参加を呼びかけ、地域との連携を進めることにも取り組んでまいりました。

リーフレットをお開きください。まずは、大きなイベントの1つとなりますが、10月26日日曜にくつろぎコンサートを開催いたします。和太鼓や大正琴のほかに、合唱系のサークルなど9団体によるバラエティに富んだコンサートをお楽しみいただけます。

この中には、西部児童館で活動している「西部ダンスサークル」の出演も予定され、公民館のサークルとは一味違った小学生の元気なダンスを見ることもできます。このコンサートを多くの方に聞いていただけるよう、そして、通常の活動と違った大きなスペースで日頃の活動成果を発表してもらえるよう、児童館の遊戯室を会場として100人規模で実施いたします。

また、西部公民館の恒例イベントの1つでもあります料理サークルによる料理の提供を今年も実施いたします。内容については、リーフレットの10月26日、11月1日と2日の薄い黄色にて記載しております。有料ではございますが、各サークルで日頃の活動の成果を表した自信作です。御来館の際は、ぜひ御賞味いただければ幸いです。

次に、サークル体験として、薄い緑色にて掲載していますが、10月25日の「ヨガサークル スタート」によるヨガ体験をはじめ、29日には茶道の「蒼天会」のお茶会、30日には、太極拳サークルの「西部慢慢児の会」の健康太極拳体験など、期間中多くのサークルが体験イベントを行います。

あわせて、10月26日のみんなで折り紙をはじめとした公民館事業を3事業実施いたしま

す。水色で記載しております。

リーフレット裏面をお願いいたします。展示になります。ロビーでは水墨画や皮工芸品など、日頃のサークル活動の成果の展示、そして成人学級による学習紹介のほか、地域の関連団体をはじめ、明治大学付属明治高等学校・中学校や、地元の中学校などが参加していただいている地域のコーナーを設けております。これからも地域の交流を積極的に進めまいります。

第2学習室では、デッサン画や書道、水彩画サークルの展示を行います。

階段・玄関展示では、例年御協力いただいている近隣の保育園と共に、今年は第五中学校美術部の生徒さんによる階段アートが展開されます。

期間中、お楽しみとして、野菜の摂取量が分かるベジチェックなど、興味をお持ちいただけるような取組も併せて用意しております。

ぜひ皆様の力を合わせてつくり上げている文化祭に、どうぞ足をお運びいただければ幸いです。

西部公民館からは以上です。

○稻留委員長 続きまして、小川館長、よろしくお願ひします。

○小川北部公民館長 それでは、北部地域文化祭のパンフレットを御覧ください。

まず、このパンフレットの表紙の絵は、先ほど事業報告いたしましたこども夏まつり2025の大かるたの中の1枚、北部公民館と隣接する上ノ原公園の特徴的な遊具と子どもたちをモチーフとした絵札を使用しています。

パンフレットをお開きください。2ページにわたり、発表部門のイベントを掲載しています。オープニングセレモニーは、今年もCherrys!によるチアダンスとなっています。そのほか、今年度は10月25日土曜日の初日になりますが、「北の杜わくわくまつり」を実施いたします。スタンプラリーの用紙を受付テントでもらい、スタンプラリーで各イベントを回ってもらうという内容になっております。

ポニーふれあい広場では、上ノ原公園から深大寺通り商店街までの往復をポニーと一緒に散歩するまち歩きと上ノ原公園に戻ってきてからは、上ノ原公園内でポニーへの餌やりや小学校6年生までの児童を対象にポニーの乗馬体験を今年度も実施いたします。

そのほか、公民館の敷地内のほうでは射的コーナー、ディスグッターナイン、ドキドキ子どもお茶席、マジック教室参加者によるマジックの発表会、十王坂の審理カードゲームといったイベントを開催いたします。

右側の10月26日日曜日からの発表につきましては、朗読公演であったり、コーラスの発表、また、筋肉体操やストレッチの体験教室、折り紙の体験教室なども実施いたします。絵本と本の展示も行い、おはなし会も行います。

10月31日には、絵画体験教室ということで、静物画のデッサンになるかと思いますが、屋外のテントで絵画体験教室を実施する予定であります。

11月1日は、第3学習室、音楽室のほうで、バンド演奏やドラム演奏などを実施しています。

最終日の11月2日は、地元農家の新鮮野菜の販売、それから調布産のラベンダーサシェ～匂い袋作り～、ウクレレの演奏、ゴスペルコーラスの発表を実施いたします。

裏面をお願いいたします。こちらは展示部門になります。1階の入り口では、今年も調布城山保育園の園児の作品が来館者を迎えるという形で、展示してまいります。

展示ギャラリーでは、陶芸、折り紙、絵手紙を展示いたします。廊下壁面は、成人学級の活動による学習の成果の展示という形になっております。

1階、奥のほうになりますが、美術室は地域で活動している団体の健全育成推進上ノ原地区委員会、上ノ原まちづくりの会、深大寺通り商店会の展示と、神代中学校の美術部と晃華学園中学校高等学校が美術作品を展示することになっております。

また、2階の第1・第2学習室でも、絵手紙であったり、陶芸であったり、絵画であつたりと、各サークルの展示になっております。

廊下の壁面には、絵手紙のサークルと、もう一つの成人学級の活動による学習展示を実施いたします。

2階の廊下の窓側には、上ノ原地区の子ども生け花教室というのが実施されておりまして、そちらのほうの児童と講師が生け花を展示することになっております。

こちら、パンフレットに記載はないのですが、先ほど御報告しました、こども夏まつり2025で使用したA3サイズの大かるたの絵札も中央階段のガラス面に展示する予定であります。お時間がありましたら、いらしていただけたらと思います。

北部公民館からは以上になります。

○稻留委員長 お疲れさまでした。それぞれの館から御報告がございましたけれども、皆さん、御意見、御質問等ありましたら。特にございませんか。それでは、次の議題に進んでよろしいですか。どうぞ。

○清水委員 では、1点だけ。先ほど申し上げたように、こういった地域文化祭とかの

取組というのは、いろいろなところに新しい公民館のファンであるとか、委員長のおっしゃる御高齢の方々の参加のきっかけになる事業だと思っています。

ですので、登録団体、一覧表がついている公民館もありましたけれども、ぜひ全部の公民館で作っていただいて、地域文化祭に来られた方がどういう団体があるのかというのを一目で分かるようなものがあれば、ちょっと自分もここに行ってみようかな、体験してみようかなということができるのではないかと思いますので、これは公民館のファンを増やすチャンスと捉えていただいて、登録団体だけが活動しているわけではありません。公民館が支援していろいろな教室をやっていることもありますので、そういった何かCMになるようなことをぜひやっていただけたらと思いますので、要望させていただきます。

以上です。

○稻留委員長 どうぞ、丸山館長。

○丸山東部公民館長 東部地域文化祭のところについては、一覧表に近しいものが、5ページ、6ページに各団体の活動が載っておりますので、それでカバーしていると理解しています。

○稻留委員長 どうぞ。

○八田副委員長 私も清水委員と同様で、入会というのかな、興味をそそるタイミングでもあるので、どのぐらいのタイミングで活動しているのだというのが非常に分かりやすいですね。会費が年幾らなのなどというのも入っていますので、次年度以降、ぜひ参考にされるといいなと。

1点だけ北部のパンフレットの中で、東部さんと西部さんのほうはQRコードを入れているのです。なので、次年度、北部さんも入れるといいなと思いますので、次年度に向けて、提案をさせていただきます。よろしくお願ひします。

○小川北部公民館長 ありがとうございます。

○川上委員 あと北部さんは実行委員の役員というのは特に入れていないですか。

○小川北部公民館長 そうです。今まで入れていないようです。

○川上委員 そうだったのですね。

○稻留委員長 役職名は書いてあるけれども、役員名が書いていないですね。

○清水委員 でも多分それぞれにあるのかなとは思いましたけれども、入れたほうがいいのですか。

○川上委員 どうでしょう。御判断は、別に自由だと思います。

○稲留委員長 では特段の事情がなければ、入れていただくのが普通のような気がしますので、小川館長、よろしく御検討をお願いします。

○小川北部公民館長 検討いたします。

○稲留委員長 では、よろしいでしょうか。

(「なし」の声あり)

続きまして、資料3の社会教育委員の会議について、丸山館長、よろしくお願ひします。

○丸山東部公民館長 それでは、令和7年度第3回調布市社会教育委員の会議について御報告いたします。資料3をお願いいたします。

会議は、令和7年9月2日火曜日午後1時30分から教育会館3階301研修室で行われました。

議題につきましては記載のとおりですが、多くの時間を割いたのは、2、議題(3)その他です。

ア、令和7年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会ブロック研修会は、今年度調布市がブロック幹事市であり、社会教育委員の会議の議長で東部公民館の事業講師も務めている篠崎議長による演劇を実施することです。

イ、中学生海外体験学習事業については、社会教育課が今年度初めて実施した中学生の海外留学です。渡航先はオーストラリアのパース、期間は9日、無事に終了したとの報告でした。

説明は以上となります。

○稲留委員長 これは特に何かありますか。

(「なし」の声あり)

では、なれば、今度は協議事項です。この前ベンディングになっていた研修会のテーマについて、これは丸山館長、よろしくお願ひします。

○丸山東部公民館長 それでは、令和7年度公民館運営審議会研修会のテーマについて御報告いたします。

前回、多くの委員から御提案いただきまして、御協議いただきました。様々な御意見を踏まえ、委員長から事務局と調整し、内容は一任いただきたいとの発言をいただき、承認されているところです。

その内容については、他の自治体で公民館に携わる職員を講師に迎え、現場の声も含めた公民館に関する内容となりました。本日、机上配付をいたしました、こちらのほうを御

準備いただければと思います。

国立市公民館に勤務する針山和佳菜社会教育主事。講演内容は、「公民館の“おととい”と“しあさって”」、「おととい」というのは去年、「しあさって」は未来という形で書きます。「一公民館職員としての『わたし』の視点一（仮）」となりました。

本日、こちらのほうに来る直前に、針山氏からメールを頂戴しております。昨年、稻留委員長も御出席いただいた研修会においては、非常に短い時間の中での展開であったということで、今回我々のほうは1時間以上の時間を割くことになりました。そのことを踏まえて、もう少しボリュームをアップしてやりますということでメールを頂戴している次第です。

説明は以上となります。

○稻留委員長 そういうことでございますので、よろしいでしょうか。どうぞ。

○大槻副委員長 これは2枚目のほうの用紙、書式は、もうこれで決まって作っているということになるわけですか。

○丸山東部公民館長 ここをベースに。

○大槻副委員長 ベースにいくわけですね。

○丸山東部公民館長 稲留委員長とも御相談をした上で、前回、御自分が出席されて非常によかったですというところでありますので、そこを一応同じものをリクエストしています。ただ、その時間枠が少し増えた部分をボリュームを増やして御講義いただけるということで、直前にメールをいただいたところです。

○大槻副委員長 まず1点として、サブテーマで「～東京の公民館の“おととい”と“しあさって”を考える～」のような、サブテーマではない、これがテーマで、ここ之上に「過去」「未来」とついていますね。これをそのままこのように載っけていくのだったら、これでいいと思います。もしここの部分のテーマのところで、「“おととい”と“しあさって”」で「過去」「未来」と載っけないのだったら、1枚目のテーマのところに仮で出ていますけれども、もしそっちに出ないのだったら、例えば、最後の「一公民館職員としての『わたし』の視点一」とありますよね。これは仮になっていますけれども、この「視点」というのを私は「未来」に変えたほうがいいと思っただけなのです。

2枚目を見てみたら、ちゃんとこのように「過去」「未来」となっているので、そしたらそれにダブらせる必要はないという私の意見です。

○稻留委員長 この2枚目というのは、国立であったときのもののコピーなのですね。

だから、今度は針山さんがまだどんなお話をされるかというのは分かりませんけれども、漏れ伝え聞くところによると、このときに御説明して御自身が実際にやりになったお仕事の紹介と、そのプラスアルファの展望みたいな、そんな話だというので、この辺はこちらが決めるのか、針山さんが考えられるのかもあるから。

○清水委員 この2枚目があるからややこしい話になっている。

○稻留委員長 この2枚目はあまり関係ない。

○大槻副委員長 関係ないのだったら……

○稻留委員長 公民館全体の、このときの話なのですよ。

○大槻副委員長 分かっています。分かっている上でも、それは言っているだけです。だから、もう繰り返しになりますけれども、サブテーマがついているのは非常にいい。ただ、サブテーマの最後の「視点」というのを、私は例えば「未来」と変えたほうがいい。これはあくまで、要はそれに対する、分かった上で、こっちからの、あくまで調布というので、東部、西部、北部で言っているのではなくて、これに対しての意見で言っているだけで、それを通すようにとか、そのようなのとは違います。

○八田副委員長 他団体の事例を我々が勉強させていただくというのは非常にいいことだと思います。先ほど来、この公運審の中でも若年層が利用したり、シニア世代がどう利用するのかというのが共通課題だと思うのです。国立で実践をしている事例紹介も含まれてくると思いますので、ぜひとも「しあさって」というのかな、今後という点を聞けるとありがたいと思いますよね。期待して臨めればなと思っています。よろしくお願ひします。

○稻留委員長 それでは、ここは協議事項になっておりますが、具体的な文言は別として、こういった方向でやるということでおろしいですね。

(「異議なし」の声あり)

そうすると、今度はその他で次回の定例日が一つになる、これは丸山館長から。

○丸山東部公民館長 次回定例会の予定です。11月18日火曜日午後2時から第6回定例会を東部公民館で開催いたします。詳細につきましては、追って通知をさせていただきます。

また、当日は定例会終了後に、令和7年度公民館運営審議会研修会を参加希望の市民にも御参加いただき、開催いたします。

説明は以上となります。

○川上委員 研修会は何時からになるのですか。

○丸山東部公民館長 一応3時15分ですが、若干前後する可能性もあります。

○下釜委員 研修会はどういう中身なのですか。

○丸山東部公民館長 研修会の中身は、今のこちらの内容。

○下釜委員 これが。

○丸山東部公民館長 はい。

○清水委員 研修会の中身なのですが、先ほどの「公民館の“おととい”と“しあさって”」ということで、「過去」と「未来」ということなのですけれども、それを国立市の公民館を御経験された方にお話をいただくというように認識をしておりますが、先ほどいただいた資料の2枚目というのは、もう既に開催された参考資料ということでつけられないと。ここには時間もかなり長い時間でやられており、恐らく調布市の公民館運営審議会の研修としてはもっとコンパクトにしていただいて、時間もやり方も内容も調布に合ったやり方でやってくださるものと私は期待をしておりますが、それでよろしいのですよね。

○稻留委員長 ここの時間は、これをそのまま再現することではなくて……

○清水委員 ですよね。無理ですよね。

○稻留委員長 針山さんというのは、この中の一出演者なのです。

○清水委員 なので、やはり2枚目があることによって、結構ややこしくなってしまっているのかなと。

○稻留委員長 だから参考資料で、実際には、ここにいろいろ書いてありますように、その次のページもありますけれども、それぞれの時間割は結構偉い人が来て挨拶だとかあるわけですよ。それなりのその分野の、これは佐藤一子さんというのですか、東大の先生とかがあったり、シンポジウムの中の1つとして、針山さんが出てくるわけなので、この人が話したのは15分とか20分とかそんなものではなかったのかと思います。

長時間になることではなくて、前にもちょっとお話をございましたけれども、質疑を入れて1時間20分ぐらいではないかというので、ほどほどの時間ではないでしょうか。

○川上委員 でもこれがあったおかげで、私は三多摩テーゼという、50年目なのだなと思いましたけれども、過去とそれから未来、大槻さんがおっしゃったように未来を考える上で、ぜひ聞きたいと思いました。楽しみ。

○稻留委員長 三多摩テーゼは全部読みましたけれども、公民館で酒を飲んでもいいのではないかなどと書いてありましたよ。

○川上委員　　それは1つの。でも当時の思いをもう一回みんなで一緒に味わうのもいいなと思って。

○稻留委員長　　ただ、これはあまり大きな話ではなくて、具体的に国立の御担当の方がどういうことでいろいろやっていたかという、御当人のお人柄なり熱意なり取組を聞きたいと思うのです。それはやはりある種の感動を受けると思いますので、抽象的な話ではないですから、自分が実際に汗水流していろいろやったことだと思うのです。

それでは、その他、特に何かございますか。

○丸山東部公民館長　　特にございません。

○稻留委員長　　それでは、先ほども冒頭、議事録の関係について、遠藤委員にお願いということだったけれども、お見えになつていないので、大槻委員にお願いしたいと思うのですが、よろしいでしょうか。

○大槻副委員長　　はい。

○稻留委員長　　それでまた順番については、遠藤さんと御相談していただいて。では、そういうことで、これで今回の第5回の定例会は終了いたしましたので、傍聴の方もお疲れさまでした。御退席いただいて結構でございます。

閉会　午後3時47分